

二輪コース受検マニュアル



北陸信越検査部 石川事務所

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

案内（4《二輪》コース）

・石川事務所でのバイクの検査は、外観検査（車台番号等の確認も含む）、排気ガス検査（排気ガス検査が必要なものに限り）、テストによる検査の順になります。



例：テスト検査の内、ブレーキ検査

重要

入場前の注意事項

・テストによる検査では、ブレーキの検査を行います。

ブレーキの検査では、必ず前後のブレーキを操作してください。

令和7年6月27日、前ブレーキのみ操作し、転倒する事故が発生！

・**降車時は確実にスタンド**を掛けてください。
(転倒事故の事例あり！)

・ブレーキ、スピード及びヘッドライト検査時に、車両を抑える装置（クランプ）が出ます。

検査後クランプが解放された際に、バランスを崩して転倒する事故が発生しています！

・検査後も、**両手でハンドルを握り両足をついてバランスを取り**転倒しないよう注意してください。



スタンド確認！
よし！

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

3

外観検査

・外観検査では、灯火器類の点灯状況、タイヤの摩耗、ナットの緩み等の確認を行います。

・検査項目は車種、年式、長さ、幅、高さ、定員などの自動車検査証に記載内容や型式指定車からの変更箇所などで変わります。

・車両番号（ナンバープレート）、車台番号及び原動機型式の確認も行います。事前にそれぞれの打刻位置を確認し、汚れ等については清掃しておくようご協力をお願いいたします。

・検査が終わり書類を受け取ったら、次の検査に進みます。



Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

4

排気ガス検査

- ・排気ガス検査の実施場所まで、車両を移動させてください。
- ・エンジンを掛けたまま、停車し、ギヤを「N」（ニュートラル）にしてください。
- ・降車し、スタンドを確実にかけてください。
《事故防止POINT！ しっかりスタンド確認！》



- ・排気ガス検査は、「型式の排出ガス記号」によって選択するボタンが異なります。
- ・排気ガスの選択ボタンは、検査実施職員が検査票へ記載し、口頭によりお伝えします。
- ・ご参考として、排気ガステストには下記のとおり表示しております。

選択ボタン	排気ガス規制年	排出ガス記号	CO基準値	HC基準値
D	平成11年規制	BC-、BD-	4.50%	2000ppm
E	平成19年規制	EAL-、EBL-	3.00%	1000ppm
	平成28年規制	2AL-、2BL-、2LL-		
F	令和2年規制	8AL-、8BL-、8LL-	0.50%	1000ppm

- ・テストの初期設定は「F」になっていますので、「D」や「E」での測定の場合は選択ボタンを押してから、プローブを入れて検査を行ってください。

5

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

- ・排気ガステストのプローブをバイクの排気管内に60cm程度挿入してください。

- ・60cm程度挿入できない場合は、補助器具を使用してください。



- ・排気ガス検査が終了したら検査票を記録器に挿入し記録をしてください。

- ・**検査票の向きに注意**してください。
- ・次は、テストによる検査になります。



6

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

テストによる検査

- ・テストによる検査は、スピードメータ検査、ブレーキ検査及びヘッドライト検査になります。
- ・テストによる検査の前に、事前にバイクのスピード検出が前輪か後輪かを確認しておいてください。
- ・前輪検知の場合は、スピードメータ検査選択の選択ボタン「前輪検出」を押下してください。
- ・後輪検知の場合は、操作は不要です。
- ・ヘッドライトが2灯式の場合は、ヘッドライト検査選択の選択ボタン「2灯式」を押下してください。
- ・選択ボタンを押し間違えた場合は、右下の黒い「訂正」ボタンを押下して、選択をやりなおしてください。



7

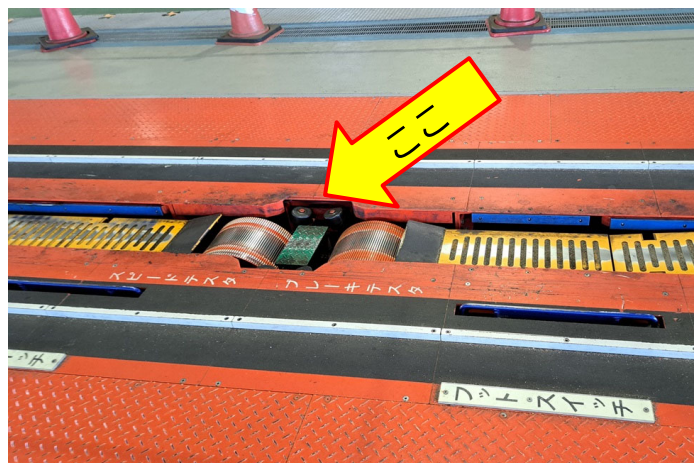
Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

テストによる検査の順番について

- ・スピードメータ検査 「後輪検出」の場合
前輪ブレーキ → スピードメータ → 後輪ブレーキ → ヘッドライト
- ・スピードメータ検査 「前輪検出」の場合
スピードメータ → 前輪ブレーキ → 後輪ブレーキ → ヘッドライト

の順で検査となります。

- ・バイクをテストに進入させます。
- ・バイクの前輪をスピード・ブレーキテストに乗せてください。
- ・テストに乗せたら、ハンドルを切らないようにしてください。



8

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

前輪ブレーキ検査 (後輪検出の場合)

・前方の電光掲示にしたがって、検査を実施します。

・バイクのギヤを「N」
(ニュートラル) にします。
次に、左の足元にあるフット
スイッチを踏みます。



・踏むとガイドローラとクランプが出てきて車体をまっすぐに調整します。

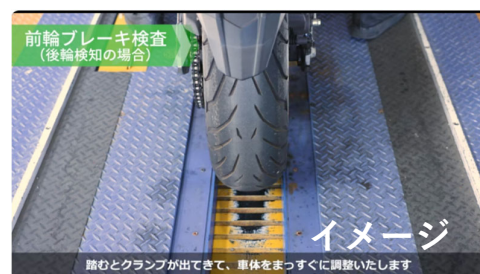
《事故防止POINT！ ハンドルをしっかりと握る！ バランスを崩さないように注意》



ガイド
ローラ



クランプ



イメージ

踏むとクランプが出てきて、車体をまっすぐに調整いたします

9

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

前輪ブレーキ検査 (後輪検出の場合)

・前方の電光掲示に「ブレーキをはなす」の表示がでたら、前輪ブレーキをはなしてください。

・前輪ブレーキの検査では、前後のブレーキを操作します。

・前方の電光掲示に「前後ブレーキをかける」の表示がでたら、バイクの**前後**のブレーキを同時に操作してください。

《事故防止POINT！》

- ・前後のブレーキを同時に操作しないと車両が下がったり、前輪が振られバランスを崩しやすくなります。
- ・令和7年6月27日、**前後**ブレーキ操作をしなかったため、転倒事故発生！

・前方の電光掲示に「前輪ブレーキをはなす」の表示がでたら、バイクのブレーキをはなしてください。

電光掲示の例



転倒



10

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

スピードメータ検査 (後輪検出の場合)

・後輪検出の場合は、前輪ブレーキ検査の後、ゆっくり前進し、後輪をテストに乗せてください。

・後輪をテストに乗せたら、ギヤを「N」（ニュートラル）にしてください。

・前方の電光掲示に「フットスイッチをふむ」の表示がでたら、左側の足元にあるフットスイッチを踏んだままにしてください。テストのローラが作動し後輪が回転し始めます。

・ハンドルから手をはなさずにバランスが崩れないように注意してください。

・徐々にローラの回転が速くなり、スピードが上がって行きます。

・バイクのスピードメータが40km/hを指した時に、左足で踏んだフットスイッチをはなしてください。

電光掲示の例



11

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

・フットスイッチをはなすと、テストが自動でゆっくり止まっていきます。

・ハンドルから手をはなさずにバランスが崩れないように注意してください。

後輪ブレーキ検査 (後輪検出の場合)

・電光掲示に「ギヤを「N」（ニュートラル）にする」の表示がでたら、ニュートラルを確認してください。

・次に、左の足元にあるフットスイッチを踏みます。

・踏むと前輪にクランプが出てきて車体をまっすぐに調整します。

・次に、電光掲示に「後輪ブレーキをはなす」の表示がでたら後輪ブレーキをはなしてください。

電光掲示の例



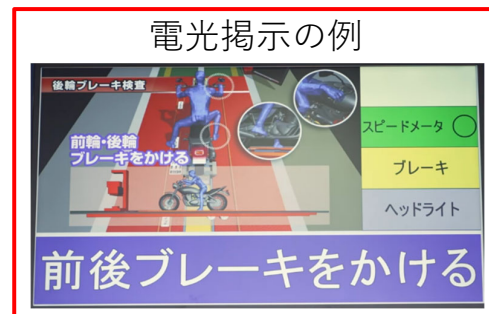
電光掲示の例



12

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

- ・前方の電光掲示に「前後ブレーキをかける」の表示がでたら、バイクの**前後**のブレーキを操作してください。



《事故防止POINT！》

- ・前後のブレーキを同時に掛けないと車両が下がってバランスを崩しやすくなります。

- ・前方の電光掲示に「後輪ブレーキをはなす」の表示がでたら、バイクのブレーキをはなしてください。



13

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

スピードメータ検査 (前輪検出の場合)

- ・スピードメータ検査 「前輪検出」の場合

スピードメータ → 前輪ブレーキ → 後輪ブレーキ → ヘッドライト
の順で検査となります。

- ・ブレーキ検査については後輪検出と同様の方法です。

- ・前輪をテストに乗せたら、ギヤを「**N**」(ニュートラル)にしてください。

- ・前方の電光掲示に「フットスイッチをふむ」の表示がでたら、左側の足元にある**フットスイッチを踏んだまま**にしてください。テストのローラが作動し前輪が回転し始めます。

- ・しっかりハンドルを押さえながら、**ハンドルを左右どちらかに軽く切って、タイヤをガイドローラに当てると**前輪が安定しやすくなります。

- ・バイクのスピードメータが40km/hを指した時に、左足で踏んだフットスイッチをはなしてください。



14

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

ヘッドライト検査

・バイクをヘッドライト検査位置まで前進させてください。床に白い線があります。

・床の白い線にヘッドライトが来るように停止させてください。左側に、カーブミラーが設置されておりますので、停止位置を合わせる際にご覧ください。

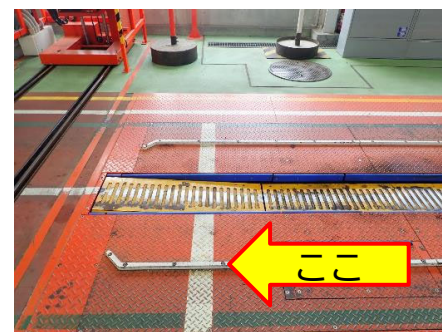


ヘッドライトを
白線に合わせる

・前方の電光掲示に、「ギヤを「N」（ニュートラル）にする」が表示されたらギヤをニュートラルにして、車体を垂直に立ててください。

・前方の電光掲示に「フットスイッチをふむ」の表示がでたら、左側の足元にあるフットスイッチを踏んでください。

・フットスイッチを踏むとクランプが出てきて、車体をまっすぐに調整いたします。



電光掲示の例



15

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

・ライトをハイビームで点灯してください。

・バイクとヘッドライトテストを正対させてください。

(注意) 2灯式の場合は複灯にカバーをしてください。カバーの取り外し時は転倒にご注意ください。
カバーをするのが難しい時は、事前に検査実施職員にお申し出ください。

・検査が始まりますので、そのままお待ちください。

《事故防止POINT！》

- ・検査が終了するとクランプが外れます。
- ・この際、ふらつきやすくなります。しっかりバランスをとり、バイクを支えるようにしてください。
- ・令和6年度に富山県で転倒事故発生！

・検査が終了したら、バイクを前方に進め停車します。

電光掲示の例



16

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology

・バイクを停止位置で停車します。

《事故防止POINT！ しっかりスタンド確認！》

・ブレーキ、スピードメータ及びヘッドライト検査の検査結果について、検査票を記録器に挿入し記録をしてください。

・**検査票の向きに注意**してください。

・記録をしたら、バイクを検査コースのシャッター手前、若しくは、駐車場の退避箇所に停車し、総合判定室に書類をお持ちください。

総合判定室

バイク停止位置



シャッター手前



総合判定室



17

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology



NALTEC 受検案内ch

YouTubeで二輪コースの受検方法の動画を見ることができます！
(動画は約12分です。)

是非、受検の前にご活用ください。



継続検査(車検の更新)における二輪自動車受検案内動画(全編)
[#ユーザー車検](#) [#バイク車検](#) [#二輪車検](#) ←リンクこちらをクリック！



Full Guide to Vehicle Inspection Renewal (Shaken) in Japan | User
Car Inspection [#UserInspection](#) ←リンクこちらをクリック！



18

Copyright© National Agency for Automobile and Land Transport Technology